



## 2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 株式会社メディカルネット 上場取引所 東  
コード番号 3645 URL <https://www.medical-net.com/>  
代表者 （役職名）代表取締役会長CEO （氏名）平川 大  
問合せ先責任者 （役職名）管理本部ゼネラルマネージャー （氏名）三宅 大祐 TEL (03)5790-5261  
半期報告書提出予定日 2026年1月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期中間期	3,330	14.4	94	98.0	165	145.5	90	—
2025年5月期中間期	2,912	24.4	47	△72.0	67	△65.3	△17	—

（注）包括利益 2026年5月期中間期 137百万円（－％） 2025年5月期中間期 △2百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期中間期	9.92	—
2025年5月期中間期	△1.89	—

（注）前第3四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年5月期中間連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### （2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年5月期中間期	4,560		2,014		42.7
2025年5月期	4,080		1,768		42.1

（参考）自己資本 2026年5月期中間期 1,948百万円 2025年5月期 1,715百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,400	5.3	270	173.3	233	72.4	121	—
								13.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年5月期中間期	10,773,000株	2025年5月期	10,773,000株
2026年5月期中間期	1,526,030株	2025年5月期	2,041,130株
2026年5月期中間期	9,131,499株	2025年5月期中間期	9,039,184株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ

「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2026年1月30日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を会場及びライブ配信にて開催する予定です。当日使用する決算説明会資料はTDnetで同日開示しております。

また、当社Webサイト（<https://www.medical-net.com/ir/library/>）に本日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは、「インターネットを活用し 健康と生活の質を向上させることにより 笑顔を増やします。」をミッションとして掲げております。このミッションの下、当社グループは、歯科医療プラットフォームビジネスを軸に、口腔まわりから全身の健康を導き、笑顔溢れる世界を創るヘルステック企業として、事業を展開しております。生活者がより良い治療を自ら選択でき、事業者の持続的な成長をサポートするサービスを提供し、世界中の人々の健康と成長を生涯にわたって支援する事業への展開を目指しております。この目標を達成するために、インターネットを活用したサービスの提供にとどまらず、歯科商社事業や大衆医薬品・医薬部外品の企画・卸販売に加え、タイにおいては歯科医院の運営、歯科商社事業及びPOSシステムの開発・導入・メンテナンス事業を行っております。

こうしたなか、当社グループは、既存事業のさらなる効率化を進めるとともに歯科業界でのメディカルネット経済圏を構築し、歯科医療業界のデジタル化の中核を担うプラットフォームの確立や、口腔まわりから始まる健康寿命増進プラットフォームビジネスの構築に取り組み、事業を拡大したことにより、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加し、親会社株主に帰属する中間純利益も黒字化いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,330,488千円（前年同期比14.4%増）、営業利益は94,250千円（前年同期比98.0%増）、経常利益は165,259千円（前年同期比145.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は90,540千円（前年同期は17,039千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

なお、2025年3月28日に連結子会社であった株式会社ミルテルの当社が保有していた全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、「未病・予防プラットフォーム事業」を廃止しております。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① メディア・プラットフォーム事業

メディア・プラットフォーム事業は、「口腔まわりから健康な社会の実現」のため、価値ある情報の提供を目的に、当社グループが運営するポータルサイトを通して生活者に有益な歯科情報やヘルスケア情報をお届けしております。

当中間連結会計期間においては新メディアへの広告出稿が好調に推移した一方、既存メディアへの広告出稿が伸び悩み、売上高は前年同期比で減少したなかで、自社ポータルサイトのコンテンツ拡充や主要システムの刷新等に加え、新たなサービスの開発に注力しており、投資が先行しております。また、前連結会計年度末に美容系のポータルサイトを閉鎖いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は484,390千円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は234,675千円（前年同期比15.9%減）となりました。

#### ② 医療機関経営支援事業

医療機関経営支援事業においては、Webマーケティング及びHP制作・メンテナンスサービス、歯科医院運営、歯科商社、大衆医薬品・医薬部外品の企画・卸販売、歯科医院総合支援を行っております。

##### 1. Webマーケティング

クライアントのHPへのアクセス数を増やすために、SEOサービス及びリスティング広告の運用代行サービスを行っております。

SEOサービスにおいては、アクセス増加と順位対策を同時に行えるサービスなどサービスメニューの多様化を進め、また、リスティング広告においては、多様化・細分化するユーザーニーズに応えるべく、Yahoo!、Googleのリスティング広告、LINE広告に加え、TikTok広告などの運用代行などサービスの拡充に努めた結果、売上高は前年同期比で増加いたしました。

##### 2. HP制作・メンテナンスサービス

主に、「からだ」・「健康」・「美」に関連する事業者（歯科医院、エステサロン等）をクライアントとして、HP制作・メンテナンスサービス等を提供しております。

情報過多かつ専門知識がなくとも誰でも手軽に情報を取得・発信できるようになった現代において、正確な情報発信を継続し、販売活動に注力いたしましたが、受注制作案件数が減少し、売上高は前年同期比で減少した一方で、業務の効率化、コストの見直しを行いセグメント利益は増加いたしました。

### 3. 歯科医院運営

タイ・バンコクの連結子会社及び連結子会社（孫会社）であるMedical Net Thailand Co., Ltd.、Pacific Dental Care Co., Ltd.、Fukumori Dental Clinic Co., Ltd.において歯科医院を3院運営しており、患者様ファーストをモットーに人材育成、組織開発を行い、日本の医療を現地で展開しております。その結果、3院ともバンコクの頼れるインターナショナルクリニックとなり、売上高は前年同期比で増加いたしました。

### 4. 歯科商社事業

国内の連結子会社である株式会社オカムラ及び2025年3月に連結子会社（孫会社）化した有限会社吉見歯科器械店、タイ・バンコクの連結子会社（孫会社）NU-DENT Co., Ltd.、D.D.DENT Co., Ltd.において、歯科商社事業を行っております。

日本国内においては、既存の東京、大阪と前第3四半期に新たに宮崎、鹿児島が加わり、4拠点体制になっております。特に国内において受注が好調に推移し、売上高は前年同期比で増加いたしました。

### 5. 大衆医薬品・医薬部外品の企画・卸販売

連結子会社（孫会社）のノーエチ薬品株式会社において、大衆医薬品・医薬部外品の企画・卸販売を行っております。前中間連結会計期間にあった大型受注が、当中間連結会計期間においてはなく、売上高は前年同期比で減少いたしました。

### 6. 歯科医院総合支援

歯科医院の開業から経営支援までのワンストップサービスを提供しております。当中間連結会計期間においては経営支援サービスの契約数は順調に増加しましたが、不動産事業の受注件数が僅かに前年より減少したため、売上高は前年同期比で減少いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は2,549,575千円（前年同期比24.9%増）、セグメント利益は53,510千円（前年同期比35.3%減）となりました。

## ③ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、歯科医療従事者のための総合情報サイト「Dentwave」での広告ソリューションの提供を中心に、歯科関連企業のマーケティングのコンサルティング、リサーチ、オンラインイベントの実施・運営、コンベンションの運営受託等、様々なサービスを提供しております。

当中間連結会計期間においては、「Dentwave」の新たなサービスとして歯科医師に臨床や経営に関する最新の情報を提供する「Dentwave Prime」の医院プランをリリースし、歯科医院の在庫管理の効率化を支援する「zaico for dental」の導入支援にも注力いたしました。

また、歯科関連企業に対しては、「Dentwave」が持つ約5万7千人の歯科医療従事者会員を活かしたリサーチやコンサルティングサービスに注力し、売上高は前年同期比で減少しましたが、利益率の高いサービスの販売が増加したことでセグメント利益は黒字化いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は78,890千円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益は11,209千円（前年同期は11,446千円のセグメント損失）となりました。

## ④ クラウドインテグレーション事業

連結子会社（孫会社）のAVision Co., Ltd.において、タイ国内で小売業、製造業や病院向けにPOSシステムの開発・導入・メンテナンスサービスを行っております。

タイ国内における歯科クリニックのIT化を促進し、タイ国内での歯科プラットフォームの構築を目指しております。当中間連結会計期間においては、連結子会社化後、経営環境の見直しや適切なPMIを実施した効果により、システム開発・導入案件の受注が好調に推移したため、売上高は前年同期比で増加いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は220,849千円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は47,883千円（前年同期比15.9%増）となりました。

## ⑤ その他

管理業務受託事業においては、経理、人事総務等の管理業務を受託し、サービスを提供しております。

当中間連結会計期間の売上高は90千円（前年同期比90.1%減）、セグメント利益は90千円（前年同期比90.1%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## ① 資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、4,560,017千円となり、前連結会計年度末に比べ479,554千円（前連結会計年度末比11.8%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ479,554千円増（前連結会計年度末比11.8%増）の4,560,017千円となりました。これは主に、現金及び預金が487,667千円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ233,566千円増（前連結会計年度末比10.1%増）の2,545,238千円となりました。これは主に、長期借入金が34,254千円減少したものの、買掛金が73,192千円、短期借入金が104,617千円、未払法人税等が52,041千円、賞与引当金が51,603千円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ245,987千円増（前連結会計年度末比13.9%増）の2,014,779千円となりました。これは主に、剰余金配当26,195千円により利益剰余金が減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益90,540千円の計上や、株式会社ヨシダを処分先とする第三者割当による自己株式の処分等に伴い自己株式が143,466千円減少し、資本剰余金が11,650千円増加したためであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ500,984千円増加し1,904,686千円（前連結会計年度末比35.7%増）となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は247,586千円（前年同期は55,688千円の資金の減少）となりました。これは税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加、棚卸資産の減少があったこと等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は11,300千円（前年同期は23,421千円の資金の減少）となりました。これは定期預金の払戻による収入があったこと等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は192,880千円（前年同期は20,711千円の資金の減少）となりました。これは長期借入金の返済による支出があったものの、短期借入金の純増、自己株式の処分による収入があったこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年7月18日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,456,383	1,944,051
受取手形及び売掛金	944,108	970,723
商品	318,612	266,770
前渡金	141,099	149,243
その他	158,663	115,567
貸倒引当金	△60,810	△4,623
流動資産合計	2,958,057	3,441,732
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	38,720	38,613
土地	40,920	40,920
その他(純額)	53,529	52,228
有形固定資産合計	133,169	131,762
無形固定資産		
のれん	394,187	399,655
その他	33,866	37,548
無形固定資産合計	428,053	437,203
投資その他の資産		
投資有価証券	55,732	55,732
長期貸付金	291,695	45,743
長期前払費用	201,426	171,392
繰延税金資産	75,870	96,927
その他	263,866	562,926
貸倒引当金	△327,409	△383,403
投資その他の資産合計	561,181	549,319
固定資産合計	1,122,405	1,118,285
資産合計	4,080,462	4,560,017
負債の部		
流動負債		
買掛金	408,979	482,172
短期借入金	846,203	950,820
1年内返済予定の長期借入金	69,508	68,508
賞与引当金	21,614	73,217
未払法人税等	17,938	69,979
前受金	252,385	250,525
その他	314,813	300,425
流動負債合計	1,931,441	2,195,648
固定負債		
長期借入金	336,324	302,070
退職給付に係る負債	40,272	44,270
その他	3,633	3,248
固定負債合計	380,229	349,589
負債合計	2,311,671	2,545,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	337,314	348,964
利益剰余金	1,598,530	1,662,875
自己株式	△543,695	△400,228
株主資本合計	1,678,183	1,897,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,735	5,735
為替換算調整勘定	31,890	45,213
その他の包括利益累計額合計	37,625	50,948
非支配株主持分	52,982	66,185
純資産合計	1,768,791	2,014,779
負債純資産合計	4,080,462	4,560,017

## （2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）
売上高	2,912,520	3,330,488
売上原価	1,921,830	2,323,695
売上総利益	990,690	1,006,793
販売費及び一般管理費	943,086	912,542
営業利益	47,604	94,250
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,352	3,270
貸倒引当金戻入額	474	47
未払配当金除斥益	240	196
ポイント還元収入	5,205	844
受取保険金	—	4,800
為替差益	21,661	78,868
その他	1,950	2,570
営業外収益合計	30,884	90,598
営業外費用		
支払利息	5,929	6,868
消費税差額	4,848	4,021
譲渡制限付株式関連費用	—	6,852
その他	407	1,845
営業外費用合計	11,185	19,588
経常利益	67,303	165,259
特別利益		
固定資産売却益	—	1,048
特別利益合計	—	1,048
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	439
減損損失	1,785	—
原状回復費用	4,389	—
固定資産除却損	214	1,434
その他	2,089	—
特別損失合計	8,478	1,874
税金等調整前中間純利益	58,825	164,433
法人税、住民税及び事業税	62,997	75,747
法人税等調整額	△5,581	△21,057
法人税等合計	57,415	54,689
中間純利益	1,410	109,743
非支配株主に帰属する中間純利益	18,449	19,203
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失（△）	△17,039	90,540



## （中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）
中間純利益	1,410	109,743
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,230	27,995
その他の包括利益合計	△4,230	27,995
中間包括利益	△2,820	137,739
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△18,964	124,537
非支配株主に係る中間包括利益	16,144	13,202

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	58,825	164,433
減価償却費	13,031	14,871
のれん償却額	23,463	23,594
減損損失	1,785	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,110	△193
受取利息及び受取配当金	△1,352	△3,270
支払利息	5,929	6,868
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,048
為替差損益 (△は益)	△21,661	△78,868
固定資産除却損	214	1,434
売上債権の増減額 (△は増加)	△170,080	△3,406
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△33,723	55,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,583	68,033
前払費用の増減額 (△は増加)	△8,024	△13,801
長期前払費用の増減額 (△は増加)	7,441	30,034
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,693	16,931
未払金の増減額 (△は減少)	9,427	△8,341
前受金の増減額 (△は減少)	56,986	△24,112
その他	31,661	32,681
小計	9,923	281,552
利息及び配当金の受取額	1,352	3,270
利息の支払額	△5,929	△6,868
法人税等の支払額	△61,035	△30,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,688	247,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300	17,522
有形固定資産の取得による支出	△18,853	△6,401
有形固定資産の売却による収入	—	2,385
貸付金の回収による収入	1,712	1,729
敷金及び保証金の差入による支出	△2,055	△1,700
保険積立金の積立による支出	△860	△1,133
その他	△3,665	△1,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,421	11,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	149,567	101,509
長期借入金の返済による支出	△40,116	△35,254
リース債務の返済による支出	△2,456	△2,378
配当金の支払額	△26,779	△26,113
自己株式の取得による支出	△15,646	—
自己株式の処分による収入	—	155,116
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	△85,281	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,711	192,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,317	49,217
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△84,504	500,984
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,711	1,403,702
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,423,207	1,904,686

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

## 【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	クラウドイ ンテグレー ション事業	未病・予防 プラットフォーム事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	545,901	2,040,652	87,451	218,697	18,911	2,911,612	908	2,912,520
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	545,901	2,040,652	87,451	218,697	18,911	2,911,612	908	2,912,520
セグメント利益 又は損失（△）	278,973	82,760	△11,446	41,297	△104,261	287,324	908	288,232

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	287,324
「その他」の区分の利益	908
全社費用（注１）	△241,744
その他の調整額（注２）	1,116
中間連結損益計算書の営業利益	47,604

（注）１．全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

## Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	クラウドイン テグレーション事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	484,390	2,549,575	75,582	220,849	3,330,398	90	3,330,488
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	3,307	—	3,307	—	3,307
計	484,390	2,549,575	78,890	220,849	3,333,706	90	3,333,796
セグメント利益	234,675	53,510	11,209	47,883	347,278	90	347,368

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	347,278
「その他」の区分の利益	90
全社費用（注1）	△253,693
その他の調整額（注2）	576
中間連結損益計算書の営業利益	94,250

（注）1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、連結子会社であった株式会社ミルテルの当社が保有していた全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当中間連結会計期間より「未病・予防プラットフォーム事業」を廃止しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年6月26日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式の処分を2025年7月18日に行いました。当中間連結会計期間において資本剰余金が11,650千円増加し、自己株式が143,466千円減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が348,964千円、自己株式が△400,228千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。